

編集後記

2021年度も、2020年から続く新型コロナウイルス感染症の余波が続き、2022年1月から急激な感染拡大の第6波が国内に広がっています。2020年初頭のようなすべての活動が止まるような制限はしていませんが、大いに影響を受け制限された研究が多い1年でした。そんな中で1年遅れのTOKYO2020オリンピック・パラリンピックが開催され、本学においても選手のみならず選手のサポートスタッフとして、また大会運営のスタッフとして多くの人が参加されました。この活動の中によって得られた経験と知識をこれからのスポーツ界に残していかなければなりません。我々も、その一翼を担うべく、すべての運動にかかわる人に貢献できる研究所を目指していきたいと思います。

東海大学スポーツ医科学雑誌も第34号の発刊の運びとなりました。本年度も発刊を迎えられたことに安堵しています。第34号刊行にあたって、ご寄稿いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

編集委員長 宮崎 誠司